

令和元年度

# 四国再犯防止シンポジウム

～依存について考える～

参加  
無料

12月4日(水) 13:00～

要事前申込

レクザムホール

(香川県県民ホール：小ホール)

## 【プログラム】

12:00 ◇開場・受付

13:00 ◇開会挨拶, 来賓挨拶 (香川県知事)

13:10 ◇基調講演



講演1

和田 清氏

(埼玉県立精神医療センター依存症治療研究部長)



講演2

海野 順氏

(医療法人社団光風会 三光病院院長)

14:45 ◇パネルディスカッション

【パネリスト】

海野 順氏

大久保 智生氏 (香川大学教育学部准教授)

高橋 正氏 (四国厚生支局麻薬取締部相談指導官)

岡崎 由起美氏 (香川県精神保健福祉センター所長)

AA栗林グループ

【コーディネーター】

平野 美紀氏 (香川大学法学部教授)

16:00 ◇閉会挨拶

16:05 ◇お知らせ (京都コンgresについて)

## ◇講演1

和田 清氏

元国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部長等を経て、現職。

厚生労働省薬事・食品衛生審議会臨時委員や法務省再犯防止推進計画等検討会委員などを務める。

著書に「依存性薬物と乱用・依存・中毒—時代の狭間を見つめて—」(星和書店)など。

## ◇講演2

海野 順氏

金沢医科大学卒業後、精神科医師として阪本病院(大阪府)などの勤務を経て、現職。

精神保健指定医、臨床心理士。

専門は依存症全般であり、アルコール、薬物のほかギャンブルやネット・ゲーム障害などに精通。

## シンポジウムの目的

法務省では、再犯防止推進法に基づき、刑務所等から社会に戻った人たちによる再犯の防止に取り組んでいます。

本シンポジウムでは、テーマを「依存について考える」とし、薬物、アルコール、クレプトマニア（窃盗症）のほか、近年問題となっているネットやゲームへの依存の問題を幅広く取り上げ、支援の現状や課題等について議論します。

### 【アクセス】

レクザムホール

（香川県県民ホール）

香川県高松市玉藻町9-10

● JR高松駅から徒歩約9分

● 琴電高松築港駅から徒歩約7分

レクザムホールには駐車場がありません。  
できる限り公共交通機関で  
お越しいただきますようお願いいたします。  
（周辺に有料の駐車場がございます。）



## シンポジウム参加のお申し込み

・ FAX, メール又は郵送にて、お申込みください。

【FAX】087-826-1285

※この用紙に必要事項を記入して、下記連絡先にそのまま送信ください。

【メール】taka008@muse.ocn.ne.jp

※件名を「四国再犯防止シンポジウム申込」として、下記必要事項を入力の上、送信ください。

【郵送】〒760-0033 高松市丸の内1-1 高松法務合同庁舎8階

※この用紙に必要事項を記入の上、「法務省高松矯正管区更生支援企画課」宛てに郵送ください。

・ 申込締切：令和元年11月11日（月）

※募集人数を上回る申し込みがあった場合は先着順とさせていただきます。

※受付完了のご連絡はいたしません。当日直接会場にお越しください。（※定員を超える場合のみご連絡いたします。）

氏名（ふりがな）	職業（又は所属）	年代	連絡先
【例】 高松 令 (たかまつ れい)	社会福祉士	40代	000-000-0000

申込担当庁：法務省高松矯正管区更生支援企画課

【TEL】087-822-4460（直通）

※個人情報は適正に管理し、当シンポジウムの目的のみに使用します。

※申し込みに関する問い合わせは、左記申込担当庁までお願いします。

主催：法務省

（高松高等検察庁・高松矯正管区・四国地方更生保護委員会・高松法務局・高松地方検察庁・高松保護観察所）

共催：厚生労働省四国厚生支局麻薬取締部

後援：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

協賛：公益財団法人矯正協会

事務局：高松高等検察庁企画調査課